

Kビジョン放送番組審議会（2017年4月11日）

放送番組審議会（第19期第2回会合）では、『タウンニュース』、『ふるさとの食を訪ねて～熊毛のナスをいただきナス！～』を合評しました。

<合評番組>

■**タウンニュース（25分）**

2017年3月6日(月)放送

18時を初回放送に、放送エリア内（下松市・光市・周南市熊毛・平生町・上関町）の出来事取材、紹介する日替わりのニュース番組。今回視聴分の内容は、英国向け高速鉄道車両の陸送（下松市）などニュース3本、特集「東日本大震災復興応援企画」として、宮城県気仙沼市の復興の現状などを紹介しました

■**ふるさとの食を訪ねて～熊毛のナスをいただきナス！～（14分）**

2016年10月10日(月)～16日(日)放送

県内のケーブルテレビ局8局で組織する「山口県ケーブルテレビ制作部会」による共同制作番組プロジェクトとして、各局が共通のテーマで取材・制作・放送しています。2016年度は地域の「食」がテーマに選ばれました。Kビジョンからは、周南市熊毛地区特産のナスを題材にした番組を制作。ナス農家を中心に栽培の苦勞や、ナスを使った加工品開発に向けた取り組みなどを取材、地元の人たちや農業を志す若者、高校生が考案した商品開発のアイデアなど、熊毛のナスに対する思いを紹介しました

<合評内容>

#### ■タウンニュース

- ・ニュースに関しては、重要な情報が映像としてきちんと伝えられていると感じる。
- ・「東日本大震災復興応援企画」は、被災地の現状を細かく取材していて、取材記者の真摯に伝えようとする思いが感じられた。地元ケーブルテレビ局社員のインタビューは、報道マンとして現状を客観的にとらえている相手のようすをうまく引き出している。一方で、気仙沼市の概略や地元のラーメンプロジェクトといった市民目線の情報の紹介が入るなど構成、編集がうまくまとめられている。
- ・ケーブルテレビ局社員の伝えられるものを映像に残したいと活動する姿が印象的だった
- ・被災者の思いを風化させないように丁寧に取材している様子に好感が持てる。
- ・被災地を訪問し、現状や復興に向けた取り組みの取材を続けていくことに、この企画の意義があると思う。
- ・被災地のラーメンボランティアや山口県とのつながりなど、ラーメンが人をつなげる具体的な事例を取り上げてみてはどうか。  
等のご意見をいただきました。

#### ■ふるさとの食を訪ねて～熊毛のナスをいただきナス！～

- ・番組冒頭は、市民になすジャムを試食してもらい、その後のリアクションを見せていて視聴者を引き込む興味深い入り方と感じた。
- ・農家が地域を盛り上げようと取り組む様子と、若手の担い手、レストランで料理を提供する高校生と若い世代へと順番に紹介することで、未来への可能性を感じさせる構成になっていた。また、取材した人たちの表情がよくとらえられていて、元気で明るい雰囲気伝わり、熊毛地域ががんばっていると感じる番組だった。
- ・地場産業を育成させる昨今、こういう番組を通して市民ひとり一人が自分たちの問題として考えられるきっかけになるとよいと感じた。
- ・ナスの再利用として、ジャムの発案者である高校生を取り上げたら、熊北レストランの取り組みにつながっていくのではないかと感じた。まちの産業や特産品の視点としてこの番組を学校の副教材として活用するよう呼びかけてみてはどうか。
- ・地域づくり、まちづくりの側面から、教育的な効果も期待できる番組構成と感じた。産業や農業の振興、生涯学習、食育と絡ませた番組を考えてみてはどうか。  
等のご意見をいただきました。

出席者は、なかはらかぜ、小田佳希、原田幸雄(書面提出)、増野睦子(書面提出)の各委員、社側から杉田昌士代表取締役社長、矢田民也専務取締役、ほか放送制作部員5名でした。